

府北部振興で連携機構

府・7市町・8大学 産業、観光などで

京都府と府北部5市2町、府内の8大学、NPOなどが今月中旬、観光や産業振興、少子高齢化など、府北部のさまざまな課題に連携して取り組む一般社団法人「京都府北部地域・大学連携機構」を設立する。事務局を福知山市の成美大に置き、多様な専門分野を持つ各大学の人材や知見を地域活性化に生かす連携し役を担う。

府内の大学は綾部市以北では福知山市の成美大しかなく、府北部の市町が大学と連携しようにしても、遠距離でつながりが薄いなど不利な事情がある。

こうした背景から、府などが設立準備を進めていた。機構には京都大や京都産業大、京都橋大、京都府立大、佛光大、立命館大、龍谷大、成美大に加え、「まほうとNPOセンター」(京都市中京区)や「北近畿のらい」(綾部市)などNPO法人4団体も加わる予定。

地域課題の解決へ向け、市町への連携活動の天橋立を串いすや巡けた取り組みを企画、介などを予定。昨年度は事前事業として、龍谷大の学生らが宮津市調査研究の場の情報提供。同機構は6月13日午

後1時から成美大で大学の連携拠点として、立記念シンポジウムを開き、事前事業の紹介や、機構の概要説明などを行う。府戦略企画課は「機構を地域と大連携の天橋立として、連携の天橋立にしたい」と話している。

(上口祐也)